市長と市政を語る会

十月二十八日（金）岩村公民館講座として「市長と市政を語る会」が開催されました。

南国市からは橋詰市長や藤村副市長、多くの担当課長が出席され岩村地区の市民約三十名と有意義な懇談が交わされました。

市長・副市長・担当課長が出席

地域活性や市民生活を質疑応答

地域活性化に対する市の財政出動の取り組みについては「公民館運営費も特色があっても良いのではないか、期間を定めて予算を出すなど、地域からの提案型もひとつの選択肢ではないか」また、活性化を図りながら移住促進の具体的方策については「遊休農地を活用して新しい農業を模索したい」

農地の他への活用について規制は見直せないか、また広域農道沿線への休憩施設店舗の設置に関しては「現状では開発許可は難しいが、検討したい」と前向きな回答がありました。

また二十二年度戸別所得補償制度（特に転作補償）については「農地法にのっとって今後も進めていく」耕作放棄農地の増加の懸念については、「集落農業を進めていきたい」と農業生産基盤の確立を図ることが報告されました。

農水路の整備体制の中で「上水道整備の実現には住民の何割の賛成があれば実現するのか」関連質問が出されたが市長からは「水道関連単体では赤字なので苦慮しています。何割という具体的数値は出せないが、順次工事は進んでおり、今後も必要に応じて進めていく予定です」と回答がありました。

広報なんこくの小・中への配布については「現在も一校に一部は配っており、予算の都合もあるので全部の教職員への配布は現状では難しい。とりあえずは、市のホームページに掲載しているのでそれを閲覧するなど活用して頂きたい」と提案型の回答をいただきました。

最後に参加者から「このような会（市長と市政を語る会）はわれわれ市民にとって市政が身近に感じられて非常によかった。機会があれば今後も続けていただきたい」と感想が発表され、時間オーバーの熱気の中で閉幕となりました。

（編集部）

にぎわった ＪＡまつり

十一月十三日、十四日と「ＪＡまつり」をかざぐるま市前で開催しました。

昨年は中央支所主催の支所祭りでしたが、今年は十数年ぶりにＪＡ南国市全体のまつりとして盛大に行われました。

多数の業者の出店や農協の内部組織である女性部や青壮年部によるいも天、焼きそば、もち、バーベキュー等季節ならではの工夫した食べものでお客様への呼び込みに貢献して頂きました。また、十三日には北陵中学校音楽部による演奏や子供さんに人気のあるゴメンジャーショーがあり、十四日にはマグロの解体ショーや女性部の方々による踊りなど盛りだくさんのイベントで賑わいました。

農産物品評会にはニラ、やっこねぎ、青ねぎなど多数出品していただき、品質の競い合いをしてもらいました。それぞれの参加組織も忙しい中、沢山の方々と交流できたと思います。

最後になりますが、当日来て下さった皆様、関係組織の皆様、本当にありがとうございました。

（寄稿者・ＪＡ南国市中央支所長　井上靖久）

女性部は出店で盛り上げる

子どもに人気のゴメンジャー

迫力満点・まぐろの解体ショー

卓球に出逢って

愛球会

金地の住民になって三十五年余りになります。定年退職後は、高知市内の趣味の教室に通っていたりして、なかなか地域の人達と触れ合う機会が少なく、友達も出来ませんでした。そんな時「ふれあいセンターで卓球をやりゆう」と聞き、愛球会の会長さん宅にお伺いし、仲間入りさせていただきました。

嬉しくて練習日が待ち遠しかったことや、初めて練習日に行った時には何人か顔見知りの方がいてほっとしました。「あの人誰」という声も聞こえましたが、皆さん岩村の人ばかりですぐに打ち解けました。

練習は集まったメンバーで十分毎に相手を代えて、時には涙が出るほど笑うこともあり楽しいひとときです。また年に二回会員全員で混合ダブルス戦を行いますが、パートナーはくじ引きで決め九組位の総当たり戦を行います。賞品は順位に関係なく何が当たるかわからずこれもまた楽しみです。

夏にはビアガーデン、冬は忘年会と和やかなひとときを過ごし、仕上げはカラオケで歌い放題、上手下手関係なく楽しい事この上なしです。

中学時代以来の卓球に出逢えてこれからも健康な限り楽しく続けたいと思います。そして岩村地区で沢山の友達が出来たことに心から感謝します。

（寄稿者・金地　高野昌子）